

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有		
体育学部	准教授	貴嶋孝太				
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
「陸上競技 I」, 「陸上競技」におけるスポーツ科学研究の知見を基にした教授方法		平成26年4月～	陸上競技を構成する走・跳・投種目における運動の仕組みや基礎的な知識を, 科学的研究から得られた知見を基に解説して理解させるとともに, 実践を通して技術を高める指導を教授した.			
2 作成した教科書, 教材, 参考書						
「陸上競技 I」, 「陸上競技」講義用資料, プリントの作成		平成26年4月～	陸上競技の諸種目について, これまでに報告されている科学的研究をレビューし, 分かりやすくまとめたプリントを作成した. これを基に運動の仕組みや指導法を教授した.			
3 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等						
(公財) 日本陸上競技連盟 U19強化研修合宿研修会 (近畿・東海地区) 講師		平成29年12月	ジュニア世代の体力や技術に関する科学的データを基に, 競技力向上に役立つ内容について講演をした.			
(公財) 日本陸上競技連盟 U19強化研修合宿研修会 (近畿・東海地区) 講師		平成30年12月	ジュニア世代の体力や技術に関する科学的データを基に, 競技力向上に役立つ内容について講演をした.			
(公財) 日本ラグビーフットボール協会 育成コーチ講習会 講師		平成30年9月	走技術や体力に関するデータを基に, ラグビー選手の走能力向上に役立つ内容について講演をした.			
(公財) 日本陸上競技連盟 U20オリンピック育成競技者合宿 講師		平成31年1月	オリンピック強化育成選手 (ハードル種目) を対象に, 競技力向上のための技術に関する講義を行った.			
(公財) 日本陸上競技連盟 U19強化研修合宿研修会 (東北地区) 講師		令和元年12月	ジュニア世代の体力や技術に関する科学的データを基に, 競技力向上に役立つ内容について講演をした.			
(公財) 日本陸上競技連盟 U19強化研修合宿研修会 (関東地区) 講師		令和元年12月	ジュニア世代の体力や技術に関する科学的データを基に, 競技力向上に役立つ内容について講演をした.			
(公財) 日本陸上競技連盟 U20オリンピック育成競技者合宿 講師		令和元年12月	オリンピック強化育成選手 (ハードル種目) を対象に, 競技力向上のための技術に関する講義を行った.			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
教員免許状更新講習 講師		平成28年1月, 平成29年1月, 平成30年1月, 平成31年1月, 令和2年1月, 令和4年1月	それぞれ「体育科教育とコーチング」, 「授業や部活動に役立つスポーツ科学」, 「陸上 (陸上運動) の授業づくり」のタイトルで講習をおこなった.			
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含まない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
短距離走選手のための機能的なトレーニングエクササイズ	貴嶋孝太, 浦田達也, 石川昌紀	大阪体育学研究	56	77-88	平成30年3月	
陸上短距離選手におけるハムストリングス各筋内の筋横断面積の形態分布の特徴と競技力との関係	上野薫, 前濱良太, 国正陽子, 牧野晃宗, 佐野加奈絵, 貴嶋孝太, Komi Paavo V, 石川昌紀	体力科学	67 (6)	383-391	平成30年12月	
一流110 mハードル走選手のレースパターンと競技パフォーマンスの関係: レース局面に基づく検討	柴山一仁, 貴嶋孝太, 森丘保典, 櫻井健一	体育学研究	64 (2)	475-485	令和元年12月	
高校生エリート陸上選手におけるサプリメント使用状況	酒井健介, 須永美歌子, 貴嶋孝太, 森丘保典, 真鍋知宏, 山本宏明, 杉田正明	陸上競技研究紀要	15	81-93	令和2年3月	
Lower complexity of motor primitives ensures robust control of high-speed human locomotion	Santuz, A, Ekizos A, Kunimasa Y, Kijima K, Ishikawa M, Arampatzis A.	Heliyon	6 (10)	e05377	令和2年3月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」, 「実践報告」, 「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月
実践報告	日本一流男子400mハードル選手のレースパターン分析-2014年の国内主要大会について-	共 森丘保典, 貴嶋孝太, 千葉佳裕, 櫻井健一, 谷川聡, 杉田正明	陸上競技研究紀要	10	95-99	平成27年3月
実践報告	日本一流男子110mハードル選手および女子100mハードル選手のレース分析-2015年度主要競技会の分析結果について-	共 貴嶋孝太, 山元康平, 柴山一仁, 杉本和那美, 櫻井健一, 千葉佳裕, 森丘保典	陸上競技研究紀要	11	106-114	平成28年3月
実践報告	日本一流男子110mハードル選手および女子100mハードル選手のレース分析-2016年度主要競技会の分析結果について-	共 貴嶋孝太, 櫻井健一, 千葉佳裕, 森丘保典	陸上競技研究紀要	12	111-117	平成29年3月

実践報告	2017年全国高等学校総合体育大会入賞選手のアンケート調査-相対年齢効果や運動・スポーツ歴に着目して-	共	森丘保典, 須永美歌子, 貴嶋孝太, 真鍋知宏, 山本宏明, 酒井健介, 杉田正明	陸上競技研究紀要	13	231-233	平成30年3月
実践報告	国内女子ジュニア短距離選手の疾走技術検討のための事例的研究	共	貴嶋孝太, 島崎祐里, 福田厚治, 石川昌紀, 伊藤章	トレーニング科学	29(3)	237-246	平成30年4月
実践報告	国内外一流女子100mハードルのレース分析-2018シーズンの主要競技会について-	共	貴嶋孝太, 柴山一仁, 杉本和那美, 森丘保典, 岩崎領, 前村公彦, 金子公宏	陸上競技研究紀要	14	142-152	平成31年3月
実践報告	2018シーズンにおける男子110mハードル走のレース分析	共	柴山一仁, 貴嶋孝太, 杉本和那美, 森丘保典, 岩崎領, 櫻井健一, 苅部俊二, 金子公宏	陸上競技研究紀要	14	132-141	平成31年3月
実践報告	国内外一流女子100mハードルのレース分析-2019シーズンの主要競技会について-	共	貴嶋孝太, 柴山一仁, 杉本和那美, 森丘保典, 岩崎領, 前村公彦, 金子公宏	陸上競技研究紀要	15	198-214	令和2年3月
実践報告	2019シーズンにおける男子110mハードル走のレース分析	共	柴山一仁, 貴嶋孝太, 杉本和那美, 森丘保典, 岩崎領, 櫻井健一, 苅部俊二, 金子公宏	陸上競技研究紀要	15	215-226	令和2年3月
実践報告	2021年シーズンにおける男子110mハードル走のレース分析	共	柴山一仁, 貴嶋孝太, 杉本和那美, 森丘保典, 櫻井健一, 苅部俊二, 金子公宏, 谷川聡	陸上競技研究紀要	17	40-48	令和4年3月
実践報告	2021年シーズンにおける国内一流女子100mハードルのレース分析結果	共	大西克広, 貴嶋孝太, 柴山一仁, 杉本和那美, 森丘保典, 前村公彦, 金子公宏, 高野大樹	陸上競技研究紀要	17	49-60	令和4年3月
実践報告	2021年シーズンにおける男女400mハードル走のレース分析	共	杉本和那美, 森丘保典, 貴嶋孝太, 柴山一仁,	陸上競技研究紀要	17	61-78	令和4年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国際	平成28年7月	European College of Sport Science	Kinematics of sprint start for masters' athletes	Vienna, Austria	Kijima K., Urata T., Ohta Y., Fukuda K., Nakai A., Ishikawa M., Mero A., Komi P. V., and Ito A.
国際	平成29年7月	European College of Sport Science	Functional swing-support leg strength exercises for sprint runners	Ruhr, Germany	Kijima K., Ishizuka H., Okamoto D., Karasuno R., Urata T., Ishikawa M., and Ito A.
国内(シンポ)	平成27年5月	第70回日本体力医学会大会	マスターズ陸上競技選手のスタートダッシュ能力	和歌山	貴嶋孝太, 福田厚治, 石川昌紀, Komi V Paavo., 伊藤章
国内(シンポ)	平成27年5月	第70回日本体力医学会大会	マスターズ陸上競技選手のスタートダッシュ能力	和歌山	福田厚治, 貴嶋孝太, 伊藤章, 石川昌紀, Komi V Paavo.
国内(他)	平成27年5月	第13回JISSスポーツ科学会議	統括的パフォーマンス研究・サポート拠点センターの取り組み	東京	牧野晃宗, 上野薫, 国正陽子, 佐野加奈絵, 貴嶋孝太, 石川昌紀
国内(一般演題)	平成30年3月	大阪体育学会第57回大会	走幅跳における踏切準備動作の良し悪しを評価する方法について	大阪	大橋廉, 藤阪ひかる, 貴嶋孝太
国際	令和元年7月	European College of Sport Science	Mechanics of effective propulsion movements for the wheelchair sprint start	Prague, Czech Republic	Kijima K., Kishizawa H., Kataoka S., Knimasa Y., Makino A., Ishikawa M., and Ito A.
国内(一般演題)	令和2年3月	大阪体育学会第58回大会	等張性負荷装置を用いた高速での牽引負荷走の有用性	大阪	北野友梧, 常石大夢, 大橋廉, 国正陽子, 貴嶋孝太, 石川昌紀
国内(一般演題)	令和2年3月	大阪体育学会第58回大会	アシテッド走による超高速疾走中の走メカニクス	大阪	常石大夢, 大橋廉, 北野友梧, 国正陽子, 永原隆, 貴嶋孝太, 石川昌紀
国内(一般演題)	令和3年3月	大阪体育学会第59回大会	野球の素振り回数増加に伴うバットヘッド速度の変化-1000回素振りの結果から-	大阪	山田昌太郎, 中岡啓明, 貴嶋孝太
国内(一般演題)	令和3年3月	大阪体育学会第59回大会	等張性牽引によるアシテッドスプリントとその後のリリース走の有用性	大阪	常石大夢, 北野友梧, 大橋廉, 国正陽子, 佐野加奈絵, 永原隆, 貴嶋孝太, 石川昌紀

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
その他の助成金	スズキ財団科学技術研究助成	義足の違いが走り幅跳びのパフォーマンスに及ぼす影響	代表	2015-2016	1,000千円
科学研究費	若手研究	車いす短距離選手の効果的な漕動作の解明	代表	2020-2024	4,160千円

特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成18年3月～現在	日本スポーツ方法学会（現、日本コーチング学会）会員
平成18年4月～現在	日本体育学会会員
平成18年4月～現在	日本バイオメカニクス学会会員
平成18年4月～現在	日本陸上競技学会会員
平成18年4月～現在	大阪体育学会会員，理事
平成20年3月～現在	European College of Sport Science 会員
平成22年12月～現在	日本トレーニング科学会会員
平成27年4月～現在	近畿ゴルフ学会・日本ゴルフ学会近畿支部会員，理事，事務局長
令和元年1月～現在	日本ゴルフ学会会員，代議員

社会的活動	
平成25年4月～現在	日本オリンピック委員会 強化スタッフ
平成25年6月～現在	日本陸上競技連盟 強化委員会 スタッフ（110mH）
平成25年4月～現在	関西学生陸上競技連盟 強化委員会委員，ヘッドコーチ補佐
平成27年6月～現在	日本陸上競技連盟 科学委員会委員

Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成26年4月～平成27年3月	研究委員会
平成27年4月～平成28年3月	研究委員会，FD委員会
平成28年4月～平成29年3月	研究委員会
平成28年4月～平成30年3月	研究委員会
平成31年4月～令和3年3月	自己点検・評価委員会
令和2年5月～令和3年3月	国際地域交流委員会
令和3年4月～	研究委員会，情報処理センター委員会，図書館委員会
特別プロジェクト活動	
平成27年4月～現在	DASHプロジェクト（陸上トップアスリートの身体機能の解明とトップアスリートサポート・育成プロジェクト）
令和元年4月～現在	スポーツ庁受託事業「運動部活動改革プラン」

Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	陸上競技 部	2. 役職	2016～現在. コーチ	3. 部員数	240 人
4. 現場指導の頻度	① ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	1 回	延べ日数：	7 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所	
	関西学生陸上競技対校選手権大会		5月	年によって異なる	
	日本学生個人選手権大会		6月	平塚，神奈川	

	日本陸上競技選手権大会	6月	年によって異なる
	西日本学生陸上競技対校選手権大会	6月または7月	年によって異なる
	日本学生陸上競技対校選手権大会	9月	年によって異なる

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)

開催期間	大会名	成績	場所
平成26年5月	第91回関西学生陸上競技対校選手権大会	男400m 第1位(川崎翔太), 男4×400mリレー 第2位, 男4×100mリレー 第4位, 男400ハードル 第4位(椿本竜也)	長居, 大阪
平成26年7月	第67回西日本学生陸上競技対校選手権大会	男100m 第4位(石塚春輝)	博多, 福岡
平成27年5月	第92回関西学生陸上競技対校選手権大会	男4×100mリレー 第2位, 男100m 第3位(石塚晴輝), 男4×400mリレー 第3位, 男200m 第4位(石塚晴輝), 男100m 第4位(佐野雅樹)	長居, 大阪
平成27年5月	Taiwan Athletics Open 2016	男110mハードル 第4位(畑中悠志)	桃園, 台湾
平成27年6月	2015日本学生陸上競技個人選手権大会	男110mハードル 第4位(畑中悠志)	平塚, 神奈川
平成28年5月	第93回関西学生陸上競技対校選手権大会	男4×100mリレー 第1位, 男110mハードル 第3位(畑中悠志)	長居, 大阪
平成29年5月	第94回関西学生陸上競技対校選手権大会	男110mハードル 第2位(畑中悠志) 男4×100mリレー 第3位, 男100m 第3位(佐野雅樹)	長居, 大阪
平成29年6月	第70回西日本学生陸上競技対校選手権大会	女200m 第4位(畑咲春)	広島, 広島
平成30年5月	第95回関西学生陸上競技対校選手権大会	男100m 第4位(秋鹿翔)	西京極, 京都
平成30年5月	第71回西日本学生陸上競技対校選手権大会	男110mハードル 第4位(渡瀬友斗)	西京極, 京都
令和元年6月	第72回西日本学生陸上競技対校選手権大会	男100m 第4位(横山聡) 女100m 第4位(坂野七海)	西京極, 京都
令和元年11月	The Macau Asian Cities Athletics Invitational meet 2019	女100m 第6位(坂野七海) 女4×100mリレー 第2位(1走, 坂野七海)	Taipa, Macau
令和2年9月	第89回日本学生陸上競技対校選手権大会	男400m 第8位(岩崎立来)	新潟, 新潟
令和2年10月	第97回関西学生陸上競技対校選手権大会	男400m 第2位(岩崎立来)	長居, 大阪
令和3年6月	第105回日本陸上競技選手権大会	男400m 第7位(岩崎立来)	長居, 大阪
令和3年9月	第90回日本学生陸上競技対校選手権大会	男400m 第2位(岩崎立来)	熊谷, 埼玉
令和3年10月	第98回関西学生陸上競技対校選手権大会	男400m 優勝(岩崎立来)	長居, 大阪

VI 賞罰(職務に関する賞罰)

年月	受賞等機関名	内容	備考